

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十五年九月度 入選句（投稿総数千七百三十五句・一般投句数五百七十五句）

特選 選者 長野 美代子

水遊び水もみくちやにされにけり 大垣市 永井 田鶴子

夏ビニールに水を張り子供たちが喜ぶ水遊び。おもちゃを浮かべたり、中に入つてびちゃびちゃとあふれる水に大喜びです。水の方からみれば大変です。「水もみくちやに」の表現には感銘です。

炎天を来て荷崩れのごとし座し 福井県福井市 三ツ山 しげこ

今年は特に猛暑がつづき、外に出れば何倍も疲れが出ます。家に入るとほっとして座りこんでしまう。「荷崩れ」とは臨場感あふれた言葉に心打たれました。

パレットに深まる秋を溶かしをり 大垣市 田村 久夫

暑い々々とは云へ朝夕は涼しくなりました。樹々の色を見ても少しづつ変ってきたようです。パレットに移りゆく秋の彩を溶かすとは。同じ緑でも少しづつ変化している様子まで見えて来ます。何か心の中まで新涼の秋が沁みて来る思いです。

秀逸

炎天に帆を張るごとくシート干す 愛知県名古屋市 舘野 茂子

城壁の白さにまさる秋の風 大垣市 栗田 基弘

大空の雲入れ替る九月かな 大垣市 矢橋 郁子

残暑とは言えふるさとの風は別 福井県福井市 三ツ山 ひろし

何もせず何も思はぬ端居かな 大垣市 大西 誠一

故郷の土の香つるり衣被 大垣市 片山 洋紅

炎昼や塩を搾り込む牛の舌 不破郡垂井町 服部 智恵

連日の残暑にあへぐ犬の舌 不破郡垂井町 高木 紫雲

吸ふ息にまつはる秋の暑さかな 大垣市 田中 雅子

少しだけ己を変えてサングラス 愛知県名古屋市 岩田 勇

入選

老犬の寝息かすかや盆の月
 大会の先ずは知らせの昼火花
 いしぶみを巡りて秋の風涼し
 蒼空に一刷毛の雲今朝の秋
 木の実落つ池に小さき水えくぼ
 沈む日に置いて行かれし二日月
 鳴く蟬の日ごとに音色移りけり
 夏の蟬森もろともに鳴き初む
 二服めは少し濃いめに月を待つ
 麦粉菓子噎せし昭和の遠さかる

大垣市 林 芳江
 大垣市 三宅 ヒサエ
 奈良県天理市 谷 佳津子
 養老郡養老町 田中 紫香
 養老郡養老町 田中 秀子
 大垣市 棚橋 みさを
 大垣市 後藤 明美
 大垣市 島岡 嘉明
 大垣市 下村 常子
 不破郡垂井町 富田 実郎

入選

鵬高音今日の始まる厨口
 自在かご煤けて久しとろろ飯
 いくさ場の軍旗の褪せて秋暑し
 文月や拓本の刷毛いくたびも
 雲の峰打球いづこへ甲子園
 辻地蔵拝み片陰拾ひ行く
 湖染めてゆつくり落ちし大西日
 刈り頃の稲穂鳴らして風渡る
 ゆつくりと踏み来踏み行く道の秋

大垣市 佐藤 すみ子
 大垣市 臼井 秀子
 大垣市 野村 多佳子
 大垣市 坪井 克枝
 大垣市 岡田 あや子
 大垣市 鶴田 信子
 大垣市 桐山 俊子
 大垣市 早崎 美弥子
 大垣市 川瀬 幸子

選者吟

飄々と風にたはむれ破れ芭蕉

美代子